



2022年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年6月10日

上場会社名 株式会社ソフトウェア・サービス
コード番号 3733 URL <https://www.softs.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 宮崎 勝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 伊藤 純一郎

TEL 06-6350-7222

四半期報告書提出予定日 2022年6月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年10月期第2四半期の連結業績(2021年11月1日～2022年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年10月期第2四半期	13,216	6.6	2,749	28.5	2,761	28.3	1,903	28.7
2021年10月期第2四半期	12,400	—	2,139	—	2,151	—	1,479	—

(注) 包括利益 2022年10月期第2四半期 1,910百万円 (25.9%) 2021年10月期第2四半期 1,516百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
2022年10月期第2四半期	円 銭 350.44	円 銭 —
2021年10月期第2四半期	円 銭 272.14	円 銭 —

※2020年10月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2021年10月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2022年10月期第2四半期	百万円 32,029	百万円 27,215	% 85.0
2021年10月期	百万円 31,580	百万円 25,815	% 81.7

(参考) 自己資本 2022年10月期第2四半期 27,215百万円 2021年10月期 25,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2021年10月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 95.00	円 銭 95.00
2022年10月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 95.00	円 銭 95.00
2022年10月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 95.00	円 銭 95.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年10月期の連結業績予想(2021年11月1日～2022年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	6.8	4,877	13.9	4,913	13.3	3,402	13.4	625.97

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年10月期2Q	5,488,000 株	2021年10月期	5,488,000 株
② 期末自己株式数	2022年10月期2Q	57,255 株	2021年10月期	55,370 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年10月期2Q	5,431,838 株	2021年10月期2Q	5,435,827 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいており、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績等は、様々な要素によりこれら業績見通し等とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績等に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向などが含まれます。ただし、業績等に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
(1) ハードウェア仕入実績	10
(2) 受注実績	10
(3) 販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内の新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響が和らぐ一方、ウクライナ情勢の影響による資源価格の上昇や中国における新型コロナウイルス感染症が及ぼすサプライチェーンへの影響等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する医療業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中、医療機関の役割分担・連携体制の構築において課題が浮き彫りとなりました。今年4月には診療報酬改定が実施され、政策としてもオンライン診療・服薬指導等を推進するなど、ICTの活用を通じた効率的・効果的な医療提供体制、診療の在り方が検討されております。

基幹システムとなる医療情報システムは、中小規模病院での普及率は徐々に増加しているものの、依然として未導入の施設も多い状態であり、一方で既に医療情報システムを導入している医療機関等でのリプレース市場も見込まれ、引き続き医療情報システム市場における有力ベンダー数社間の競争は激しさを増しております。

このような事業環境の下、当社グループは電子カルテシステムをはじめとする医療情報システムの開発・販売・導入・保守を中心に事業展開し、顧客満足度の向上に努めてまいります。

2022年6月6日より東京支社が稼働し、今後は関東圏への営業・保守体制の強化を図ってまいります。

当第2四半期連結累計期間におきましては、感染症対策の徹底やリモートでの導入作業等を進めたこともあり、新型コロナウイルス感染症の業績への影響は軽微であります。

この結果、売上高は13,216百万円(前年同期比6.6%増)、利益面におきましては営業利益2,749百万円(同28.5%増)、経常利益2,761百万円(同28.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,903百万円(同28.7%増)となりました。なお、セグメントの業績につきましては、当社グループは医療情報システム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して448百万円増加し、32,029百万円となりました。主な要因は、現金及び預金595百万円の増加、受取手形及び売掛金1,501百万円の減少、有価証券1,000百万円の増加、棚卸資産313百万円の減少、建設仮勘定1,000百万円の増加、投資その他の資産に含まれる繰延税金資産155百万円の減少及び長期前払費用75百万円の減少によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して951百万円減少し、4,813百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金173百万円の減少、未払法人税等343百万円の減少、流動負債「その他」に含まれる未払金392百万円の減少及び未払費用55百万円の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較し1,400百万円増加し、27,215百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,903百万円、第53期利益剰余金の配当516百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ594百万円増加し、7,683百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3,111百万円(前年同四半期は2,851百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,761百万円、減価償却費108百万円、売上債権減少額1,501百万円、棚卸資産減少額313百万円、仕入債務減少額173百万円、前受金増加額43百万円、法人税等の支払額1,041百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,999百万円(前年同四半期は1,045百万円の支出)となりました。これは主に、有価証券の取得による支出1,000百万円、有形固定資産の取得による支出1,013百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、517百万円(前年同四半期は491百万円の支出)となりました。これは、配当金の支払額517百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、2021年12月10日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,216,186	7,811,279
受取手形及び売掛金	4,195,482	2,693,832
有価証券	-	1,000,000
商品	1,027,514	803,908
仕掛品	404,671	314,921
その他	311,073	275,170
貸倒引当金	△4,139	△2,651
流動資産合計	13,150,790	12,896,461
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,450,710	2,384,881
機械及び装置(純額)	1,208	1,137
工具、器具及び備品(純額)	175,316	169,001
土地	11,616,534	11,616,786
建設仮勘定	3,133,100	4,133,100
有形固定資産合計	17,376,870	18,304,906
無形固定資産	23,175	18,474
投資その他の資産	1,029,628	809,492
固定資産合計	18,429,674	19,132,873
資産合計	31,580,465	32,029,334
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,892,115	2,719,090
未払法人税等	1,117,011	773,131
その他	1,682,855	1,249,480
流動負債合計	5,691,981	4,741,702
固定負債		
退職給付に係る負債	72,872	72,016
固定負債合計	72,872	72,016
負債合計	5,764,854	4,813,718

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	847,400	847,400
資本剰余金	1,916,827	1,921,497
利益剰余金	23,025,264	24,412,676
自己株式	△74,736	△73,426
株主資本合計	25,714,755	27,108,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,854	107,467
その他の包括利益累計額合計	100,854	107,467
純資産合計	25,815,610	27,215,616
負債純資産合計	31,580,465	32,029,334

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年11月1日 至2021年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年11月1日 至2022年4月30日)
売上高	12,400,710	13,216,253
売上原価	9,070,334	9,289,966
売上総利益	3,330,375	3,926,287
販売費及び一般管理費	1,190,615	1,176,984
営業利益	2,139,760	2,749,302
営業外収益		
受取利息	194	245
受取配当金	1,928	2,021
受取事務手数料	4,745	4,745
受取賃貸料	4,265	4,409
その他	5,827	6,519
営業外収益合計	16,960	17,941
営業外費用		
譲渡制限付株式関連費用	4,908	5,884
雑損失	132	1
営業外費用合計	5,041	5,885
経常利益	2,151,680	2,761,358
特別損失		
投資有価証券売却損	2,957	-
特別損失合計	2,957	-
税金等調整前四半期純利益	2,148,723	2,761,358
法人税、住民税及び事業税	675,982	704,630
法人税等調整額	△6,590	153,215
法人税等合計	669,392	857,846
四半期純利益	1,479,330	1,903,512
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,479,330	1,903,512

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年11月1日 至2021年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年11月1日 至2022年4月30日)
四半期純利益	1,479,330	1,903,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,475	6,613
その他の包括利益合計	37,475	6,613
四半期包括利益	1,516,806	1,910,125
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,516,806	1,910,125
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年11月1日 至2021年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年11月1日 至2022年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,148,723	2,761,358
減価償却費	117,365	108,820
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△561	△1,487
受取利息及び受取配当金	△2,122	△2,267
支払利息	129	-
投資有価証券売却損益(△は益)	2,957	-
売上債権の増減額(△は増加)	541,890	1,501,650
棚卸資産の増減額(△は増加)	△100,476	313,356
仕入債務の増減額(△は減少)	334,784	△173,024
未払消費税等の増減額(△は減少)	△71,634	△31,334
前受金の増減額(△は減少)	293,930	43,071
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△117,846	△456,911
その他	136,475	87,200
小計	3,283,615	4,150,432
利息及び配当金の受取額	1,960	2,164
利息の支払額	△129	-
法人税等の支払額	△433,600	△1,041,561
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,851,845	3,111,036
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	-	△1,000,000
有形固定資産の取得による支出	△1,046,867	△1,013,881
無形固定資産の取得による支出	△246	-
定期預金の預入による支出	△100,601	△100,600
定期預金の払戻による収入	100,000	100,000
投資有価証券の取得による支出	△1,529	△1,546
投資有価証券の売却による収入	3,873	-
短期貸付金の回収による収入	-	20,000
その他	167	△3,150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,045,204	△1,999,178
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△30,000	-
自己株式の取得による支出	△407	-
配当金の支払額	△461,264	△517,364
財務活動によるキャッシュ・フロー	△491,671	△517,364
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,314,970	594,493
現金及び現金同等物の期首残高	6,371,549	7,089,370
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,686,519	7,683,863

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取り扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報は記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、医療情報システム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

(1) ハードウェア仕入実績

当第2四半期連結累計期間のハードウェアの仕入実績について、当社グループは単一セグメントとしているため、種類別に示すと、次のとおりであります。

種類	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	
	仕入高(千円)	前年同期増減率(%)
ハードウェア	3,704,080	△17.2
合計	3,704,080	△17.2

(2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間の受注実績について、当社は単一セグメントとしているため、種類別に示すと、次のとおりであります。

種類	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)			
	受注高(千円)	前年同期増減率 (%)	受注残高(千円)	前年同期増減率 (%)
ソフトウェア	4,062,491	5.8	2,902,710	12.8
ハードウェア	5,543,811	16.3	4,540,631	65.1
その他	750,542	103.9	417,911	32.5
合計	10,356,845	15.4	7,861,252	39.4

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績について、当社は単一セグメントとしているため、種類別に示すと、次のとおりであります。

種類	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	
	販売高(千円)	前年同期増減率(%)
ソフトウェア	4,193,988	19.2
ハードウェア	4,877,386	△3.3
保守サービス	3,546,529	10.4
その他	598,349	△4.5
合計	13,216,253	6.6